

平成24年6月4日

『水・土・里のパイオニアⅡ—人々をつなげる「食と水」の物語—』を発売
—大学院生によるESD（持続発展教育）用地域副読本完成—

食と水問題を切り口としたESD(持続発展教育)のための地域に根ざした副読本づくりの取り組みです。2006年度『水のパイオニアⅠ—香川・日本・世界—』, 2007年度『水のパイオニアⅡ—ふるさと香川から未来へのねがいをこめて—』, 2008年度『水のパイオニアⅢ—水と緑とわたしたち—』, 2009年度『水土里のパイオニア～人々の暮らしと水とのかかわり～』と発売してきました。2009年度から水と土と里に関わる問題も十二分に扱えるようにと考え、書名を『水土里のパイオニア』に変更しました。2009年度までは香川大学大学院生だけで作成していましたが、2011年度は愛知教育大学大学院生も加わった協同での副読本づくりとなりました。

本書は、さぬきうどんの原料である小麦から始め、パスタで有名なイタリアの人々の食への考え方、さぬきうどんの主な原料生産国オーストラリアでの小麦生産の様子、中国の食生活の変化とその食料事情、中国内モンゴルでの食生活の変化、そして世界の食料問題から私たちの食生活へと、子どもたちの食と水と人々とのくらしとのかかわりへのまなざしが深められる物語仕立ての読み物教材です。持続可能な社会の在り方への考えを深める教材として、社会科、総合的な学習の時間、環境や地域に関する学習等で活用できます。

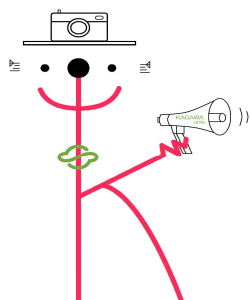
1. 活用方法

水問題を切り口にしてESD(持続発展教育)そのものを扱う場合は勿論、総合的な学習の時間(例えば、環境学習、グローバルな問題の学習)、小学校5年生社会科の産業学習や中学校社会科、高等学校現代社会や地理の学習などに役立ちます。また、読み物としても活用できます。

2. 特徴

- ① 大学院生による継続的なESD用地域副読本の発売は、全国的にも希有な試みです。
- ② うどん県香川のソウルフードさぬきうどんの原料である小麦のことから、イタリアの人々の食への考え方、オーストラリアでの小麦生産の様子、中国の食生活の変化とその食料事情、中国内モンゴルでの食生活の変化、そして世界の食料問題から私たちの食生活へと、子どもたちの食と水と人々とのくらしとのかかわりへのまなざしが深められる物語仕立ての構成です。
- ③ 平成20年度学習指導要領に導入され、今後確実に現場に実践が求められるESD(持続発展教育)のための子ども向けの教材です。
- ④ 教師になるための力量(教材開発力、授業構成力等)をトータルに形成する全国的に希有な試みです。
- ⑤ 大学院生によるESD用地域副読本の発売は、今必要とされる著作権教育にもなっています。しかも、教師教育における著作権教育は、全国的に希有な試みです。
- ⑥ 発売した副読本を活用し、教育実習直前の3年生が附属坂出中学校で7月11日に飛び込み授業をし、その成果を踏まえ高校生向けに修正した授業を8月10日のオープンキャンパスでも行います。

3. 発行部数 1,000冊 4. 編集・発行 「探検・発見・ほっとけん隊」(香川大学大学院教育学研究科及び愛知教育大学大学院教育学研究科の院生と教員の有志) ※県内の希望する学校や教員には無料配布します。それ以外は下記の問い合わせ先までご相談ください。



➤ 問い合わせ先

香川大学教育学部 社会科教育研究室 伊藤 裕康
TEL&FAX 087-832-1072 (研究室)
E-mail: hitou@ed.kagawa-u.ac.jp